

第44号 2007.4.30

高知県立幡多けいみん病院発行

〒788-0785

宿毛市山奈町芳奈3-1

TEL (0880)66-2222(代)

http://www.pref.kochi.jp/~hata

病院ニュース

News Letter

小児科外来よもやま話

小児科 武市知己

病院では子どもを裸足で遊ばせてはいけません!

時々診察の待ち時間に裸足で病院の廊下を歩き回っている子どもがいます。待ち時間が長い時は大変だと思えますが、一見ほほえましい光景のようでもこれはやめましょう。ここでやめましょうと言うのは「歩き回って騒がしい」ことではなく「裸足」のことです。病院の廊下は毎日毎日お掃除のおばさんやおじさんが、ごしごしと丁寧に掃除をしてくれています。しかし病院はもともと病気の人が集まってきたり汚染地帯です。どんなに掃除をしても、すぐに人の目には見えない病原体で汚染されていく可能性があります。病院には注射針や薬のガラス瓶などけがのもとがたくさん潜んで

います。もちろん、こうした危険物はきちんと管理しているのですが、裸足で歩いた子どもが病気になるたりけがをしたりと、そんな事実がこの病院であったわけではありません。しかし考えなくても下さい、あなたは病院の廊下をはだして歩きたいと思えますか？私には病院を裸足で歩く勇気など全くありません。（待ち時間が少なく感じられるようには私たちも努力していきます。）

「言う」と聞かなかったら先生に注射されるぞね」なんて言わないで!

な時私たちは、「頑張ろうね」と笑顔で答えながら「よいよ医者何を思うちゅうがぜよ。そんなことを言うき子どもが病院を嫌うがよえ。自分の子どもはあ自分で叱りや。」と心の中で呟いてしまいます。できれば「お注射して早く元気になるうね」と言ってお下さい。

こんなことは私たちの単なる愚痴のようでもありますが、ちよつとした思いやりの表現の一つだとも思っています。病院で、病気のことでなくてそんなこともいくつか感じてもらえればと思います。逆に私たちが皆さんから学ぶことも多くあります。診察が終わって子どもに「先生にありがとうは？」と声をかけるお父さんお母さんを見ると、「このお父さんお母さんならきつ」といい子に育つだろうな」と思いつつながら、こちらもあらためてあいさつの大切さを実感します。小児科を受診することが、何となく皆さんの子育てに役立てばうれしく思います。



キラ★キラ 研修医

今年の4月から新しく3名の臨床研修医の先生が来られました。大学医学部を卒業後、これから実際の臨床経験を積んでいく初めての病院として当院を選ばれた先生方のコメントをご紹介します。

青井二郎先生
Dr. JIRO AOI



「スタートライン」

はじめまして。研修医1年目の青井二郎と申します。ここ幡多けんみん病院で2年間お世話になることになりました。どうぞよろしく願っています。

出身は東京杉並区、高校卒業後に東北大学薬学部で薬の勉強をしていました。この頃の私はアルバイトとテニスに明け暮れておりました。勉強はよくもな

く、悪くもなく、中途半端。自分のやりたいことの目標も定まらず、フラフラした学生生活を送っていたように見えたかもしれません。でも卒業が近くなるにつれ、自分は何をやりたいのか、将来のことについて真剣に悩み考えました。

とりあえず、一度社会を知ろうと、病院非常勤薬剤師として就職。この就職が私にとって、大きな転機となりました。病気のこと、患者さんのこと、何もかも知らなすぎる、もっと知りたいもっと学びたい、という気持ちが日に日に強くなっていきましました。このとき、やっと自分の将来の進路にかすかな光が見えてきました。

2年間働いた末、周囲からの励ましもあり医学部への編入を決意し、高知大学医学部に合格。4年間の医学部での生活は充実したものでした。

そして、この春やっとスタートラインにつきました。しっかりものにしていこうと思います。これからは、

一、初心忘れるべからず、どんなに忙しく辛くても、原点を忘

れずに

二、出会うひと、一人ひとりの個性を大切に、私自身の自分らしさも見失わないこと

三、素直に聴くこと
を大切にしていきたいです。

まだ、何もできない私ですが、患者様、病院スタッフのみなさま、ご指導よろしく願っています。

東村美矢子先生
Dr. MIYAKO
HIGASHIMURA



東村美矢子です。

この春から、幡多けんみん病院で臨床研修をさせていただいています。現在、循環器内科で研修しています。

研修が始まって2週間が経ちました。毎日が新しいことの連続で、1日、1日が目まぐるしく過ぎていきます。軽症の患者さんから、重症の患者さんまで、

本当に様々な患者さんが来られます。初めは、とても不安でしたが、先生も、コメディカルの方々も、とても熱心に教えてくださるので、とても勉強になります。

また、医局が1つで、色々な科の先生方といつでも話をすることができるので、とてもいいと思います。そして、研修のことや日々の生活のことでも、病院職員の方々がサポートしてくださるので、本当に助かります。

実際に研修してみると、学生の頃とは、勉強の仕方や、臨床に対する向き合い方など、かなり異なっていて、まだまだ手探り状態ですが、とても充実しています。

仕事のペースも速いほうではないし、記憶力も決して良い方ではないので、しつこく何度も聞いたりしていますが、早く覚えて、できるようになりたいと思っています。

これから2年間、一生懸命頑張りますので、よろしく願います。

山本裕子先生
Dr. HIROKO
YAMAMOTO



私が幡多けんみん病院に来て、三週間弱たち、ようやくこっちでの生活にも慣れてきました。

一休さん（アニメ）に登場する“どちて坊や”を知っているでしょうか。何に対しても「どちて？どちて？」と問いかけ、周囲の人を質問攻めにして困らせる坊やです。私は自分は“どちて坊や”に似ていると思います。実際の医療現場に立つと、国家試験で身につけた知識（すでにだいぶ薄れた知識）だけでは、到底対応できません。時には、1つの疑問を解決するだけで、何時間も費やしてしまうこともあります。そんなときすぐ近くでアドバイスを下さる先生方の存在はとてありがたいです。それだけでなく、1つの疑問をぶつけることで、それに関する本をかしていただけたら、とき

には課題を与えていただき、その疑問が二倍も三倍もの知識となって返ってきます。不出来な私はそれを100%自分のものにしてきているとは、胸を張っていえませんが、せっかくいただいた機会を無駄にはできない！というつも思います。

私の、高校時代の恩師に教わった言葉で“虚心坦懐”という言葉があります。意味は「心に何のわだかまりもなく、さっぱりして平らかな心。また、そうした心で物事に臨むさま。」です。幡多けんみん病院での研修はまだ始まったばかりですが、来る前に抱えていた不安は、今ではどこへやら消え、ここなら自分のやる気さえあれば、求めたことにおつりがくるほどの指導を受けられると思えました。心も体もタフに、虚心坦懐を胸に、これからの研修に臨んで行こうと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



部署だより

医療相談室

医療相談室では通院、入院中の患者さんやご家族の皆さんの様々な心配事や困っている事などについて、問題解決のお手伝いをさせて頂いています。

スタッフは現在2名で、社会福祉士の資格をもって福祉全般に関わる相談に対応しています。私たちのような社会福祉従事者をソーシャルワーカーといい、病院で相談業務に携わるソーシャルワーカーを「医療ソーシャルワーカー」（MSWと略されることがあります）といいます。相談内容としては介護保険や障害者制度など福祉に関わる相談以外にも当院では転院に関する相談や医療費にかかわる相談も受けております。

相談業務では、病院内の医師、看護師、事務など他職種と連携して問題解決を進めていくことが欠かせず、地域の医療機関や市役所、地域包括支援センターなど関係機関とも連絡調整が必

要となる場面が多くあります。

転院相談では他の医療機関のMSWと連携を図ることが重要であるため、日頃から院内外の研修会、連絡会などに参加し、職種間のネットワークを広げられるよう取り組んでいます。

医療相談室は2階初診受付窓口から左側廊下を入っていく場所にあります、少しわかりづらいのですが、いつでもお気軽に声をかけてください。相談員が病棟へ出ていて不在のこともありませんが、その際は初診受付で声をかけて頂ければ連絡が入るようになっていきます。

相談は無料で予約もいりません。電話でのご相談もお受けしています。皆さんからの相談には守秘義務を守って対応いたしますので安心なさっておいでください。



病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

和食のすすめ

具沢山のお味噌汁

栄養科



食生活の洋風化は生活習慣病の要因の一つとなっています。今一度、和食の良さを見直してみるのはいかがでしょうか。

今回、ご紹介するのは具沢山の味噌汁です。

野菜や海藻や大豆製品のたっぷり入ったお味噌汁は、不足しがちなミネラル、食物繊維を補給するのに最適な食事といえるでしょう。

一例ですが、旬の新たまねぎに、ふのり、わかめ、油揚げ、ねぎをたっぷり入れたお味噌汁は季節感もありとてもおいしくいただけます。また、具が多い分、汁は少なめになりますので、塩分の取りすぎを抑えられます。たっぷりの野菜からうまみ成分が十分出ますので、ほんだしなどの調味料は少なめにするのがよいでしょう。

がよいでしょう。毎朝、一杯の具沢山のお味噌汁で、元気になること間違いなしです。



4月10日の病院給食にさくら回子を作りました

休診のお知らせ

精神科 神経内科	診療科
5月18日 (金)	休診日

3月の統計

外来患者数	15,848人
新外来患者数	2,592人
紹介患者数	393人
新入院患者数	553人
退院患者数	572人
平均在院日数	15日
救急車・時間外患者数	1,722人
手術件数	200件

幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。